

「泊園記念会五〇周年記念国際シンポジウム」について

平成22年10月23日(土) (10:00~17:45)に〈以文館4階セミナースペース〉において「泊園記念会五〇周年記念国際シンポジウム」が開催された。

泊園書院は、幕末の大坂において讃岐高松出身の藤澤東暎によって開かれ、様々の経緯をへて関西大学に二万冊を越える蔵書が寄贈されたことを記念として東西学術研究所が設立され、その後に泊園記念会が昭和36年(1961)に創立されすでに50年を迎えるのを記念して国際シンポジウムが開催されたのである。主催は、泊園記念会、関西大学東西学術研究所であるが、開催に当たり科学研究費補助金基盤研究(A)(代表者:吾妻重二)及び大阪府からの共催を得たのみならず、関西大学当局の援助を受け、関係諸機関から多くの後援を受け開催された。

記念式典の直前に、「泊園書院址」記念碑を以文館北側に設置する除幕式を関係者にとって頂き行った。その後、次のように記念シンポジウムが行われた。

1. 記念式典

挨拶: 大学側代表 学長 楠見 晴重
 東西学術研究所所長 松浦 章
 基調報告: 泊園記念会会長 藪田 貫

2. 記念講演会

講演者: Ronald P. Toby (アメリカ イリノイ大学教授)
 題目: 「18世紀北半球という視点から「鎖国」を捉え直す——気候変動・毛皮交易・松平定信——」(使用言語: 日本語)

3. シンポジウム「東アジアの伝統教育と泊園書院」

講演者

- ① 水田紀久 (木村蒹葭堂顕彰会代表)
 題目: 「三世祖述と創意の学」
- ② 李弘祺 Hong-Chi LEE (台湾 国立交通大学教授)
 題目: 「書院: 近世中国教育的中心」(使用言語: 中国語 通訳: 山田明広)
- ③ 鄭萬祚 Man Jo Chung (韓国 国民大学校教授)
 題目: 「韓国書院の研究動向と成果」(使用言語: 韓国語 通訳: 篠原啓方)

- ④ 辻本雅史（京都大学大学院教授）

題目：「儒学の学びと人間形成」

- ⑤ 湯浅邦弘（大阪大学大学院教授）

題目：「幕末大坂の知的拠点——懐徳堂・適塾・泊園書院——」

4. 「Web 泊園文庫」デモンストレーション 解説：泊園記念会副会長 吾妻重二
5. 総括討論・終了挨拶
6. レセプション：生協法文坂レストラン1F

以上の内容が実施され、シンポジウムと同時開催にて、泊園書院・泊園文庫の写真、蔵書等に関する特別展示「藤澤東咳・南岳・黄鵠・黄坡と石濱純太郎の学統」が開催された。会場は第1会場：総合図書館展示室において泊園文庫を中心に書物、掛け軸など約60点を展示、第2会場：正門インフォメーション横アートギャラリーにおいてパネル中心の展示（展示期間：平成22年10月18日(月)～11月13日(土)）が行われた。

この記念会に関して、吾妻重二編著『泊園書院歴史資料集—泊園書院資料集成1—』（東西学術研究所資料集刊29-1）（関西大学出版部）及び『特別記念展示 展観目録 藤澤東咳・南岳・黄鵠・黄坡と石濱純太郎の学統』（関西大学東西学術研究所）が刊行された。

なおシンポジウムに関する論文集は本年度中に『泊園記念会創立50周年記念論文集』として刊行される予定である。（以上敬称略）

（記：松浦章）